

带状疱疹の診断・治療と疼痛管理 - 7

注意すべき合併症

● 総監修 ●

横浜市立みなと赤十字病院

西岡 清

● 学術指導 ●

東京慈恵会医科大学附属青戸病院皮膚科

本田 まりこ

注意すべき合併症

【1】帯状疱疹後神経痛

◆帯状疱疹の合併症として、まず帯状疱疹後神経痛に注すべきである。

○帯状疱疹後神経痛の危険因子

- 帯状疱疹後神経痛の危険因子として、右図のようなものが挙げられる。
- 好発部位は、三叉神経第1枝等である。

帯状疱疹後神経痛の危険因子

- 年齢：高齢
- 性別：女性
- 急性疼痛の重症度：重度
- 前駆症状：有
- 皮疹の重症度：重度
- 皮疹の範囲：広範囲

【2】帯状疱疹発症部位別にみる注意すべき合併症

○耳周囲に発症した帯状疱疹

< Ramsay Hunt 症候群 >

耳周囲（頬、顎、耳から首、肩にかけて）に発症する帯状疱疹では、難聴や顔面神経麻痺、味覚障害などを合併することがある。



○目の上、額に発症した帯状疱疹

目の上や額に帯状疱疹が発症した場合、ウイルスにより三叉神経第1枝である視神経が障害されると、角膜炎・網膜炎・視神経炎を起こす可能性があり、最悪失明に至る場合がある。



○腹部に発症した帯状疱疹

- 腹部の帯状疱疹では、片側の腹筋が麻痺して腹部が膨脹したり、便秘になることがある。
- まれに腸閉塞を起こす場合がある。



○臀部、陰部に発症した帯状疱疹

- 臀部、陰部は仙骨神経の支配領域である。外陰部の帯状疱疹では、膀胱や直腸の動きが阻害され、排尿障害や尿閉を起こすことがある。
- 陰部の粘膜が帯状疱疹になると、疼痛が強く、粘膜がただれるなどの症状が強く出ることがある。



○ごくまれな合併症

- | | |
|-------|--------------------------|
| ●運動麻痺 | …知覚神経の炎症が脊髄深部まで達することによる。 |
| ●筋萎縮 | |
| ●脳炎 | …水痘・帯状疱疹ウイルスが脳に達して発症する。 |